

学会企画シンポジウム 4

良い心・悪い心の「裏側」を探る

——心理学概念の望ましさをめぐる諸問題——

企画・司会：澤田匡人（学習院女子大学）

企画・指定討論：小塩真司（早稲田大学）

話題提供：野崎優樹（甲南大学）

「情動知能」に焦点をあてて

話題提供：江上園子（白梅学園大学）

「母性愛」に焦点をあてて

話題提供：山岡明奈（沖縄国際大学）

「マインドワンダリング」に焦点をあてて

話題提供：飯村周平#（創価大学）

「環境感受性（HSP/HSC）」に焦点をあてて

企画趣旨：

近年、教育場面において「非認知能力」への注目が高まりを見せ、種々の教育実践が行われてきている。このような能力だけでなく、時間や場所を越えて比較的安定したパーソナリティを含めて、望ましい側面を促進し、望ましくない側面を抑制すべきだ、という論調がある。しかしながら、ある特定の概念について、何をもって「良い」「悪い」とするかの判断は、それらの概念の一部分に光を当てているに過ぎないため、曖昧な点が少なくない。そこで本シンポジウムでは、一般的に良いとされる概念の悪い側面、悪いとされる概念の良い側面といったように、いくつかの概念に焦点を当てながら、それらの「裏側」に迫る。